

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-169	22-404	独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター 佐久間寛 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 松下幸生
題名（原題／訳）		
Implications of addiction diagnosis and addiction beliefs for public stigma: A cross-national experimental study 依存症診断と依存症信念がパブリックスティグマに与える影響;実験的国際比較研究		
執筆者		
Rundle SM, Cunningham JA, Hendershot CS.		
掲載誌		
Drug Alcohol Rev. 2021 Jul;40(5):842-846. doi: 10.1111/dar.13244. Epub 2021 Jan 25.		
キーワード		PMID
依存症、脳疾患、依存症モデル、パブリックスティグマ、スティグマ		33493359
要旨		
<p>はじめに アルコールおよび薬物使用 (alcohol and other drug; AOD) 障害に対するスティグマは、治療へのアクセスを妨げる大きな障害となっている。WHO によるレビューでは、嗜癖性障害は最もスティグマが大きな状態であると結論付けられている。依存症病因モデル (models of addiction; MOA) によって AOD 障害に対する一般のスティグマに影響を及ぼすかどうかを調べた研究はほとんどない。本研究では、5 つの MOA を代表する信念が世間のスティグマレベルを予測するかどうか、また、他の健康状態と比較して AOD 使用障害に対するスティグマが異なるかどうかを検討した。</p> <p>方法 調査データは、オンラインデータ収集プラットフォームを用いて、カナダ、米国、オーストラリアから収集された。参加者は、アルコール使用障害および/または他の障害を持つ個人を描写した 4 つのヴィネット (画像) のうちの 1 つに無作為に割り当てられた。ヴィネットの登場人物に対するスティグマと、5 つの依存症病因モデル (疾患、道徳、心理、社会、自然) に関連する信念が測定された。</p> <p>結果 スティグマ評価は、アルコール使用障害において、他の条件と比較して有意に高かった。2 つの病因モデルがスティグマ評価の有意な分散を説明し、自然のおよび心理的病因モデルに対する信念が強いほど、アルコール使用障害に対するスティグマレベルが有意に低くなることが予測された。予測に反して、疾病モデルに対する信念は、スティグマの低下と関連しなかった。最後に、道徳モデルの信念は、スティグマにおける地理的地域差 (アメリカ対カナダ) を部分的に説明した。</p> <p>考察と結論 本研究は、AOD 障害が他よりもスティグマ化されていることを実験的にさらに支持するものである。さらに、本研究は、病因モデルがスティグマの認知と異なる関係を持ち、そのような信念に地域差が存在することを示唆するものであった。</p>		